

# 久美浜中学校同窓会報

## 京丹後市立久美浜中学校同窓会

〒629-3405 京都府京丹後市久美浜町640番地 TEL(0772)82-0079 FAX(0772)82-1650

http://www.kyoto-be.ne.jp/kumihama-jhs/ E-mail:kumihama-jhs@kyoto-be.ne.jp

創刊号



### ご挨拶



同窓会長  
清水 義夫

新年明けましておめでとうございませう。会員の皆様方におかれましては、ご家族お揃いでよいお正月をお迎えの事とお慶び申し上げます。

さて、昭和22年の新学校制度によって創立された5つの中学校は、昭和24年に高龍中学校及び久美浜中学校（昭和58年に湊分校を統合）に統合され、平成25年3月末まで輝かしい歩みを続けて来られました。

更に、平成25年4月に京丹後市学校再配置により2つの中学校が、新生久美浜中学校として出発いたしました。

これに伴い、それぞれの中学校で運営されていきました同窓会も、新生「久美浜中学校同窓会」として再スタートを切る事となりました。

7月1日に役員体制の確認をし、8月1日には理事会を開催して、新たな発足の確認と会則及び予算・事業計画を決定しました。

この間、それぞれの中学校では、同窓会の継続発展について関係者の皆様方にご尽力をいただき、今日に至りました。

伝統ある中学校の諸先輩方がおられる中で、浅学非才な私のような者が会長として大役を務めさせていただくのは、いささか重荷ではございますが、先の学校再配置に係わらせていただいた者の一員として、少しでもお役に立てればと思ってお引き受けした次第です。



元気いっぱいの体育祭（9月9日）

新生久美浜中学校の生徒諸君は、生徒自身の自覚と教職員の

ご努力により、学習面は元よりスポーツ面においても素晴らしい力を発揮し頑張っています。本会としても、会員相互の親睦を基調としながら、母校の発展に物心両面に亘って寄与したいと考えています。

皆様方のご協力ご指導をよろしくお願い申し上げます。

全国でご活躍の1万5000人を超える会員の皆様と、地域の皆様のご健康とご多幸を祈念してご挨拶とします。

### 『新生久美浜中学校 同窓会発足にあたり』



学校長  
高野 光彦

旧久美浜中学校と高龍中学校が学校再配置により京丹後市立久美浜中学校となり、戦後5校あった中学校が約70年の歳月を経て、久美浜町で唯一の学校となりました。高龍学区7276名、旧久美浜学区8463名、合計1万5739名の卒業生を輩出し、多くの方が各分野で活躍されています。

さて、本校では「ふるさとを愛し、意欲的に学び、優しい心を持ち、根気強く努力する生徒の育成」を学校教育目標に掲げております。ふるさとの自然・文化・歴史・伝統を知り、そこで生活を営む家族・地域の方を愛し感謝をする。そして、ふるさと久美浜を誇りに思い、希望ある未来に夢を抱き、社会に飛び立てる力をつける教育を目指しています。まず、そのために「自ら進んで勉強すること」「自ら進んで挨拶をすること」を大きな柱としています。

平成25年4月久美浜中学校は、生徒数257名（1年82名、2年89名、3年86名）、教職員38名、約75%の生徒が通学バス

を利用し、学年や旧校区それぞれに異なる制服を着用する中で、スタートしました。生徒は、期待・戸惑い・不安が交錯する中、学習・学校行事・生徒会活動・部活動に力を入れていきます。再配置後はじめての合唱祭や体育祭等の学校行事では、地域や保護者の方から良い評価を頂きました。また部活動においても、人数が増えたことで活気も出て、切磋琢磨しながら練習に励んだ成果として、春・夏・秋の大会や丹後ブロックの駅伝大会では優秀な成績を収めています。

しかし他方で学習面・規範意識には課題も抱えています。学校と家庭が連携をし、生徒に自らの問題として取り組ませ、課題解決を図っているところです。終わりに、同窓会の皆様に對しまして、学校へのご支援・ご協力を賜ることを心からお願い申し上げます。



赤・黄・青の3チームで賑やかに競い合い！



この日のために猛練習、ファイト！

### 同窓会役員名簿

（任期／平成25年8月1日～平成28年3月31日）

顧問 高野光彦（学校長）

副会長 小西康徳（前学校長）

会長 安井國士（PTA会長）

清水義夫（二区）

小林憲彦（二区）

松本義雄（神野）

小森哲朗（海部）

井蓋啓一（一区）

細口明利（二区）

月岡良子（二区）

佐野大裕（川上）

中道幸一郎（川上）

友松尚文（海部）

最上昌弘（佐濃）

足立博（佐濃）

能勢清人（田村）

一ノ尾敏明（田村）

大谷義仁（神野）

和田正人（湊）

安川郁夫（湊）

下戸昭宏（学校）

井蓋啓一（一区）

足立博（佐濃）

関利彦（学校）

安川郁夫（湊）

井藤和雄（一区）

芝野吉実（佐濃）

監事

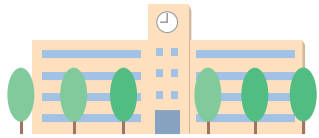
庶務

会計

芝野吉実（佐濃）



# 学校だより



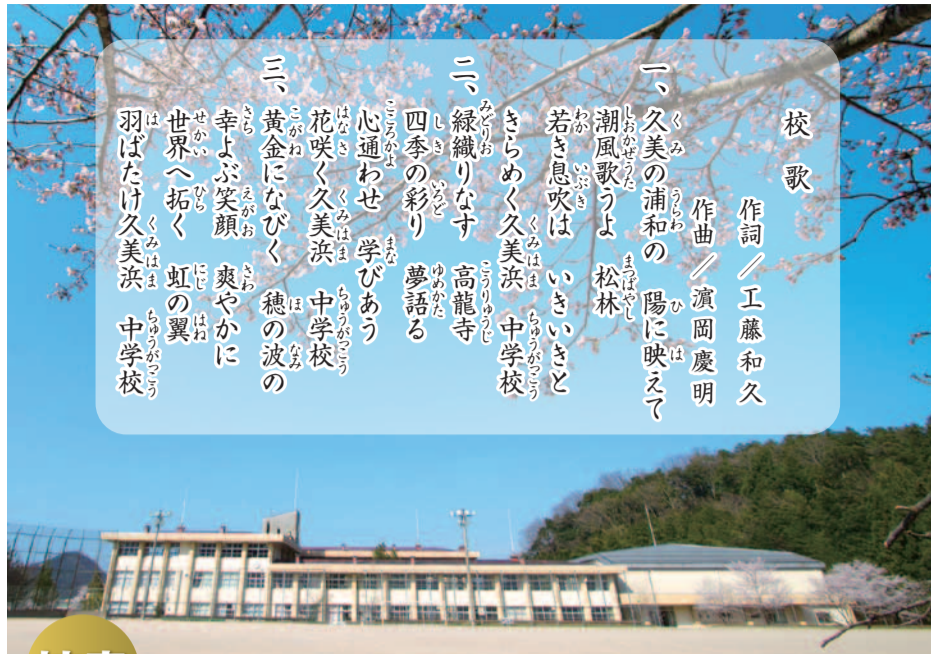
久美浜中学校の校歌は、新生「久美浜中学校」の誕生を機に新しくすることを決め、歌詞は全国公募の実施により、青森県弘前市在住の工藤和久さんの作品を採用し、作曲は、久美浜町の自然・文化・歴史を熟知されている濱岡慶明さんに依頼して制作しました。校章についても同様に全国公募により、大阪府東大阪市在住の別所えり子さんの作品を採用しました。校歌・校章に込めた作者の思いをご紹介します。

## 校歌 《作詞者》 工藤 和久 さん（青森県弘前市在住）

久美浜の豊かな自然と風土を基調に夢と希望を持ち、愛され親しみのある新しい中学校にふさわしい歌詞としました。また、「久美浜湾」「白砂青松」などを盛り込み、故郷・久美浜をこよなく愛する気持ちを明るく、元気に表現しました。七五調、1節4行で歌いやすく、生徒はもちろん地域の方にも長く親しまれる美しい歌詞にしました。

## 《作曲者》 濱岡 慶明 さん（元久美浜中学校音楽科初任者指導員、網野町島津在住）

作曲にあたり、次のような思いを込め作成しました。  
○歌詞本来の持っているリズム感を大切に、歌詞の内容を理解しやすく響きをもって歌えることを基本に作成しました。  
○久美浜の自然に恵まれた風土に歌詞の内容を重ね、力強さとやさしさを表現しました。その箇所に歌詞の定型を生かしたフレーズと自然に歌えるサビの位置を設定しました。  
○変声期の中学生が無理なくしっかり歌い上げられる音域にしました。  
○全校合唱で響きあう姿・部活動の応援として歌う姿や、卒業後にも同窓会の席で思い出に浸りながらともに歌う姿を想像し作成しました。



## 校章 《制作者》 別所 えり子 さん（大阪府東大阪市在住）



久美浜中学校、高龍中学校、久美浜町のKの3つの「K」で構成しています。  
1つめは久美中の「K」、2つめは高龍中の「K」、その2つを囲む大きな「K」は、久美浜町のイニシャルを表しています。伝統は守ることも大事ですが、育てることも大事。現代の中学生の感性にフィットした新しい校章で新たな伝統を育てて欲しいと願っています。

（資料提供：京丹後市教育委員会）

## 校旗・制服も一新してスタート!!



【本年度スローガン】 **始動 ～集え 挑め 創れ 新たな仲間と共に～**

「始動」は、新しくスタートする。「集え 挑め 創れ」は、全員が来なくなる学校、たくさんのことに挑戦し、新しい歴史、伝統を築いていこうという意味が込められています。今年度は久美中最初の年です。両校の伝統を引き継ぎ、一人ひとりが誇りを持つ新しい久美中を作り上げましょう。

生徒会活動も本格的に開始

全校生徒の手形で作ったスローガンと生徒会役員の皆さん

### 記念誌発刊についてお願い

記念誌編集部では、新生久美浜中学校の発足を記念し、平成27年4月の発刊を目指して編集の取り組みを始めました。記念誌発刊の意義は、高龍・久美浜両中学校の歴史をまとめるとともに、新生久美浜中学校への思いを地域の皆様方にお伝えして、今後の母校の発展に関心とご支援をお願いすることです。京丹後市教育委員会からも補助金等ご協力をいただくことになっていますが、写真や資料の収集や発刊資金の確保等で課題が予想されます。今後いろいろとお世話になることと思いますが、地域の皆様方の格別のご支援をお願い申し上げます。

清水義夫 会長 小西康徳 部会長

### 平成25年度 予算書

（平成25年8月1日～平成26年3月31日）

【収入の部】				
項目	予算額	前年度予算額	増減額	摘要
繰越金	567,936	0	567,936	高龍中・久美中同窓会会計から
会費	86,000	0	86,000	終身会費（@1,000円×86人）
雑収入	64	0	64	貯金利息等
合計	654,000	0	654,000	

【支出の部】				
項目	予算額	前年度予算額	増減額	摘要
会議費	10,000	0	10,000	
事務費	20,000	0	20,000	消耗品（インク、用紙等）
事業費	193,000	0	193,000	同窓会報発行 100,000円 学校行事支援 93,000円
通信費	8,000	0	8,000	切手、電話代
予備費	423,000	0	423,000	
合計	654,000	0	654,000	

◆編集後記

光陰矢の如し、新中学校のスタートから早9か月。創刊号の発行が遅くなりましたが、新しい学校の香りをお届けします。

高野校長先生のお話では、257名の生徒諸君が協力し合って、元気で明るくがんばっているとのこと、何よりです。子ども達は地域の宝。みんなで応援していきたいと思えます。

（広報部会一同）

追伸：同窓会の理事会は、「学校行事支援部会」を加えて、三部会で構成されています。

- ### 会 則
- 第1条 本会は、京丹後市立久美浜中学校同窓会と称し、事務所を同校内に置く。
  - 第2条 本会は、会員相互の親睦と教養の向上を図り、あわせて母校の発展に寄与する。
  - 第3条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。
    - (1) 会報等の発行
    - (2) 会員の親睦と教養を図るための事業
    - (3) 母校の発展に寄与するための事業
    - (4) その他目的を達成するために必要な事業
  - 第4条 本会は、正会員及び特別会員をもって組織する。正会員は、本校卒業生及び前身の久美浜中学校、高龍中学校、松江中学校、湊中学校、熊野第一中学校、並びに佐濃中学校の卒業生とする。特別会員は、本校の現・旧教職員、及び本会の推薦した者とする。
  - 第5条 本会は、会員間の連絡を密接にするために支部を置くことができる。但し、支部規約は、支部毎にこれを定める。
  - 第6条 本会に次の役員及び地区委員を置く。
    - 会長1名 副会長3名 理事16名 庶務3名 会計2名 監事2名 顧問 若干名
    - 地区に地区委員を置き、その構成、人数等必要な事は理事会で決定する。
  - 第7条 会長は、会員の中から選出する。副会長及び庶務2名並びに会計1名は、理事の互選により選出する。理事は、地区委員の推薦に基づき、会長が委嘱する。監事及び顧問は、理事会で推薦し会長が委嘱する。庶務及び会計の1名は、現教職員の中から学校長の推薦を受け、会長が委嘱する。
  - 第8条 会長は、本会を代表し会務を統括する。副会長は、会長を補佐し会長に事故ある時はこれを代行する。
  - 第9条 理事は、理事会を組織し、会務を執行する。
  - 第10条 地区委員は、地区を代表し、本会と会員との連絡に当たる。
  - 第11条 本会の役員は、任期は、3年とする。但し、再任を妨げない。補欠による役員は、任期は、前任者の残任期間とする。
  - 第12条 会議は、総会、理事会、及び地区委員会とする。但し、会長が必要と認めた時は、部会等を設置することができる。
  - 第13条 総会は、次の場合に開催する。但し、理事会・地区委員会合同会議をもって総会に代えることができる。
    - (1) 会長が必要と認めるとき
    - (2) 理事の過半数が必要と認めるとき
    - (3) 地区委員の過半数が必要と認めるとき
    - (4) 会員の3分の1が必要と認めるとき
  - 第14条 理事会及び地区委員会は、必要に応じ会長がこれを召集する。
  - 第15条 本会の経理は、会費、寄付金、その他をもってこれに充てる。但し、会費は終身会費とし、その金額は理事会で定め、卒業時に納入する。
  - 第16条 本会の会計年度は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。
  - 第17条 この会則は、総会またはそれに代わる理事会・地区委員会合同会議の決議により改正できる。
- 付 則 この会則は、平成25年8月1日から施行する。